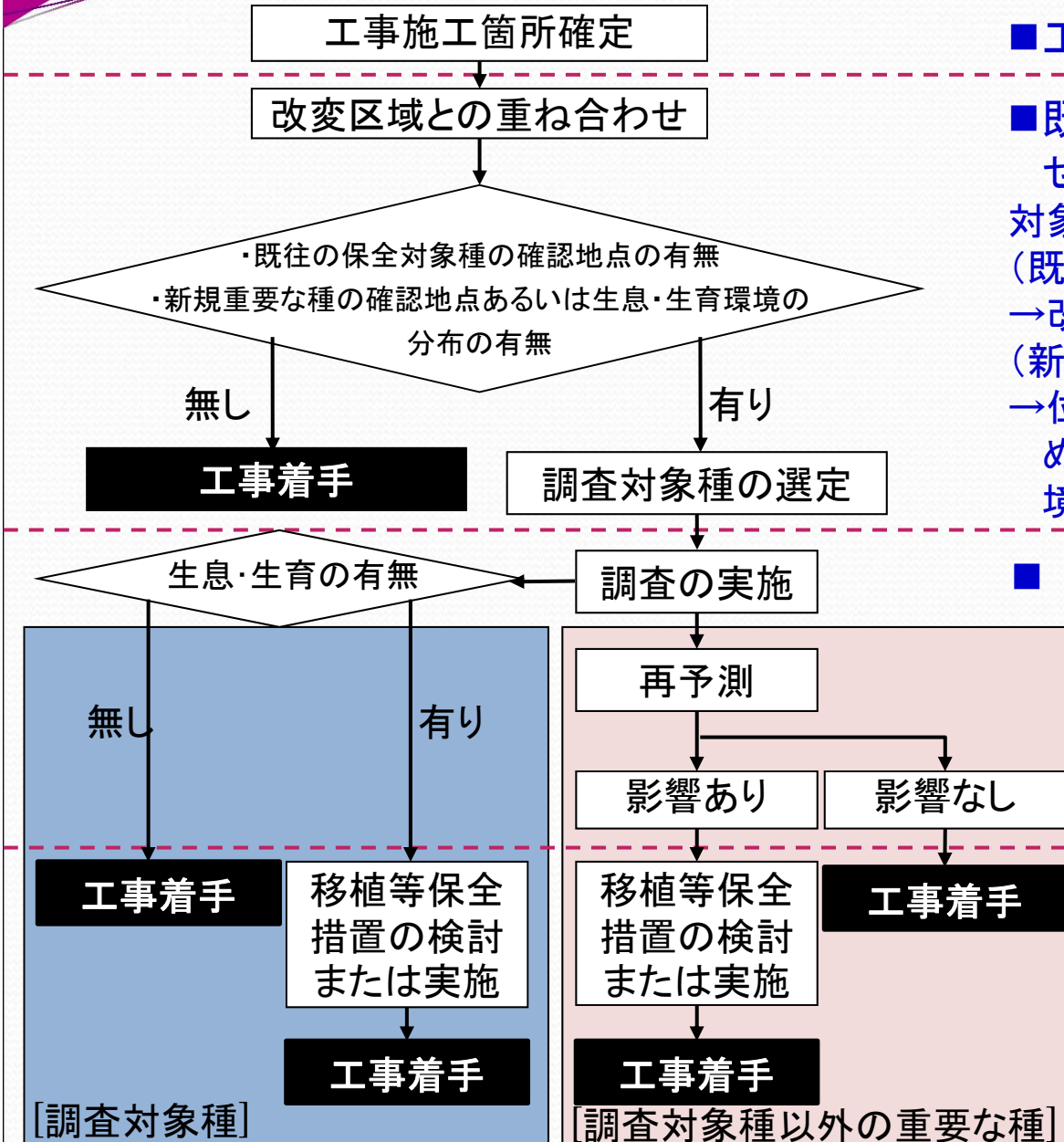


工事対応方針及び調査結果

国土交通省設楽ダム工事事務所

1. 工事対応方針及び調査結果

■ 工事着手前の調査の考え方



■ 工事箇所の確定

■ 既往調査結果と工事箇所の重ね合わせ及び調査の必要性の検討

対象: 既往の保全対象種、新規重要な種 (既往の保全対象種)

→ 変更区域内の生息・生育記録の確認 (新規重要な種)

→ 位置情報が残されていないものが多いため、変更区域における主要な生息・生育環境の有無の確認

■ 既往の保全対象種、新規重要な種を対象とした調査の実施

工事予定箇所における工事着手前の生息・生育状況確認調査

■ 環境保全措置の必要性の検討

1. 工事対応方針及び調査結果

■工事箇所確定

■既往調査結果と工事箇所の重ね合わせ及び調査の必要性の検討

- 平成26～28年度の工事箇所は、資材運搬路、付替道路、ダムサイト進入路等の他、転流工の仮設ヤード等が予定された。
- 埋蔵文化財調査は、7箇所であった。
- 各年の工事箇所において、既往調査結果と工事箇所の重ね合わせと調査の必要性の検討を行った。
- 平成26年度の予定工事箇所付近に、保全対象種の確認記録または新規の重要な種の主要な生息・生育環境が分布していたため、現地調査を実施した。

H26年度 西地・東地

H27年度 資材運搬路
(県道小松田口線、現道拡幅)

H27年度 大名倉丸山

H28年度(予定)
転流工(仮設備ヤード)

H26年度 万瀬

H27年度 大栗

H27年度 川向東貝津

H27年度
県道瀬戸設楽線 1工区

H27年度 笹平

H27年度 滝瀬

H26年度
付替県道設楽根羽線
進入路

H26年度 資材運搬路
(県道小松田口線、現道拡幅)

H28年度(予定)
資材運搬路
(県道小松田口線、
現道拡幅)

H27年度
県道設楽根羽線 1工区

H28年度(予定)
ダムサイト進入路(1)

□:埋蔵文化財調査箇所



1. 工事対応方針及び調査結果

■ 既往の保全対象種、新規重要な種を対象とした調査の実施

- 保全対象種等の確認調査は、平成26年11月10日～13日、平成26年11月19日～21日に実施し、15種の重要な種等が確認された。
- 確認された重要な種等は、確認位置、個体数、株数、行動等の生息・生育状況、地形、土壌、周辺植生等の生息・生育環境の状況を記録した。

分類	科名	種名	選定根拠 ^{*1}				備考
			a	b	c	d	
哺乳類	ネズミ	カヤネズミ	-	-	VU	-	
	ウシ	カモシカ	特天	-	-	-	
鳥類	タカ	ハイタカ	-	-	-	NT	
	カワガラス	カワガラス	-	-	VU	-	
両生類	アカガエル	ヤマアカガエル	-	-	DD	-	保全対象種 ^{*2}
昆虫類	ゴキブリ	オオゴキブリ	-	-	DD	-	
貝類	キセルガイ	オオギセル	-	-	-	NT	保全対象種 ^{*2}
		ハチノコギセル	-	-	VU	NT	
シダ植物・種子植物	ラン	ナツエビネ	-	-	VU	VU	保全対象種 ^{*2}
		キンラン	-	-	NT	VU	保全対象種 ^{*2}
		コアツモリソウ	-	-	CR	NT	
		セッコク	-	-	NT	-	
蘚苔類	キセルゴケ	クマノゴケ	-	-	VU	NT	保全対象種 ^{*2}
	ミズゴケ	オオミズゴケ	-	-	NT	NT	保全対象種 ^{*2}
	クサリゴケ	カビゴケ			VU	NT	保全対象種 ^{*2}
計	11科	15種	1種	0種	12種	9種	6種

*1: a 文化財保護法、愛知県文化財保護条例、設楽町文化財保護条例、鳳来町文化財保護条例、津具村文化財保護条例及び作手村文化財保護規程に基づき指定された天然記念物

特天: 特別天然記念物

b 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づき定められた国内希少野生動植物種、緊急指定種及び生息地等の保護区域

c 「愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち2009－動物編－(愛知県 2009年3月)」の掲載種
CR: 絶滅危惧IA類 VU: 絶滅危惧II類
NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足

d 「第4次レッドリスト(環境省 平成24年8月)」の掲載種
VU: 絶滅危惧II類 NT: 準絶滅危惧

※選定根拠は調査時点の内容を示す。

*2: 環境影響評価における保全対象種及び既往の環境検討委員会における指定種を示す。

1. 工事対応方針及び調査結果

■環境保全措置の必要性の検討【今回確認事項】

- 確認された重要な種について、平成26、27、28年度の工事を対象に改変による検討を行った。
- 改変区域周辺で、ナツエビネ及びキンランが確認された。これら2種の確認地点は、直接的な改変はないことを確認しているが、改変区域の近傍であることから、監視を行うこととする。

分類	科名	種名	H26,27,28年度の工事区域における 確認状況 (動物、蕨類は地点数、猛禽類であるハイタカは 例数、シダ植物・種子植物は地点数/個体数)			保全 対象種 ^{注1}
			改変区域 内	改変区域 周辺	改変区域 外	
哺乳類	ネズミ	カヤネズミ	0	—	1	
	ウシ	カモシカ	0	—	1	
鳥類	タカ	ハイタカ	1			
	カワガラス	カワガラス	0	—	1	
両生類	アカガエル	ヤマアカガエル	0	—	1	○
昆虫類	ゴキブリ	オオゴキブリ	0	0	1	
貝類	キセルガイ	オオギセル	0	0	1	
		ハチノコギセル	0	0	1	
シダ植 物・種子 植物	ラン	ナツエビネ	0/0	1/1	3/11	○
		キンラン	0/0	1/1	0/0	○
		コアツモリソウ	0/0	0/0	2/5	
		セッコク	0/0	0/0	1/3	
蕨類	キセルゴケ	クマノゴケ	0	0	4	○
	ミズゴケ	オオミズゴケ	0	0	3	○
	クサリゴケ	カビゴケ	0	0	2	○

注) 1: 環境影響評価における保全対象種及び既往の環境検討委員会における指定種を示す。

2. 豊川上流域の自然環境に配慮した工事の実施

目的 豊川上流域におけるネコギギをはじめとした貴重種等の生息生育に関する情報や保全対策等の情報の共有を図り、もって豊川上流域の自然環境に配慮した工事の円滑な実施を目的に豊川上流域工事環境情報会議を設置する。

関係イメージ



経過・今後の予定

- H22. 6. 3 第1回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H22.11. 4 第2回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H23. 6. 1 第3回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H23.12.12 第4回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H24. 6. 22 第5回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H24. 12. 5 第6回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H25. 6.13 第7回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H25.12. 9 第8回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H26. 6. 12 第9回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H26.11.19 第10回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H27. 6.25 第11回 豊川上流域工事環境情報会議
 - H27.12. 4 第12回 豊川上流域工事環境情報会議
- ※以降毎年2回程度実施予定

